

■ 木暮人セミナー2020 第1回

内山節 講演会：森の哲学「哲学は学問として学ぶためにあるのではなく美しく生きるためにある。」

2020/07/11_15:00～



内山節（プロフィール）

自然哲学者。東京生まれ。群馬県上野村と東京を行き来する暮らし。全国各地の森や里山を歩いた経験、修験道の修業、大乘仏教の研究などを通して、独自の思想を展開。それらをベースに、現代社会の問題を深く洞察し、里の哲学者とも呼ばれる。2015年まで立教大学・21世紀社会デザイン研究科で教鞭をとる。NPO法人森づくりフォーラム代表理事。著書に、「里という思想」（新潮選書）、「半市場経済」（角川新書）、「森にかよう道～知床から屋久島まで～」（新潮選書）、「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」（講談社現代新書）など多数。

自然と人間のゆらぎのなかで、新たな共同を模索する すべての人に贈るしなやかな思想

日時：令和2年**7月11日（土）** 14時30分開場、**15時～17時**、

場所：オンラインで開催予定です。ZOOMウェビナー 入金者にIDとパスをメールします。

参加費： 千円 申込先>> <https://peatix.com/event/1446370>

申込：今回は、上記の**Peatixのみ**での事前入金の申込みになります。ご注意願います。

登壇者： **内山節（自然哲学者）** うちやま たかし

内容：かつて、日本人は森で暮らし、森からいろんなことを学んできました。森の哲学こそが、日本人の生き方だったのです。あらためて、人は森と繋がりあう暮らしを取り戻せるのか。

内山さんの思想と体験から、深い森で失っているものを見つけに行きましょう。

木暮人国際映画祭の作品募集 QRコード ↓

木暮人倶楽部：素晴らしい「日本の木の文化」や「天然志向の木」の良さを社会に広める活動をしています。会員は、一般市民と森林・林業や建築・木工の専門家がいっしょに集まり、市民や生活者の視点や声を大切にこれからの森と木のあるべき姿をみんなで考えています。木に触れて、みんなで一緒に体感しましょう。森と木のある健康的で豊かな暮らしの創造を目指しています。



木暮人倶楽部ホームページ <https://www.kogurebito.jp>